

【ゆうパック搬送用】 0605 版

Contents

1. 発送先について
2. 問合せ先
3. 依頼書について
4. 検体梱包について
 - 4-1 三重梱包までのご準備について
 - 4-2 搬送用 4 次梱包容器のご準備について
 - 4-3 搬送用 4 次梱包容器のジェラルミンケースが準備出来ない場合
 - 4-4 梱包容器の返却について
5. SRL 検体搬送 BOX または日本臨床検体搬送 BOX を使用した 4 次梱包
6. ゆうパック伝票の記入方法
7. 検体搬送 BOX でのゆうパック利用を郵便局へ事前確認する手順
8. 4 次梱包容器用ラベル見本
 - 8-1 搬送用 4 次梱包容器_上面用
 - 8-2 搬送用 4 次梱包容器_側面用

1. 発送先について

弊社日本医学臨床検査研究所へご発送をお願い致します

宛先：(株) 日本医学臨床検査研究所

羽根 昇

住所：〒613-0046 京都府久世郡久御山町大橋辺 16-10

電話番号：075-631-6185

受領可能日：新型コロナ PCR 検査 月～日（祝日含む）

一般臨床検査 月～日（祝日含む）※検査案内の項目受託条件に準ずる

2. 問合せ先

● ご出検について

新型コロナウイルス RNA 定性検査（以下、PCR 検査）を発送いただく際、弊社ラボへの到着日時をご確認いただき、事前に、最寄りの営業所へ出検のご連絡をお願いいたします。

感染が確認された患者様の検体（以下、陽性検体）で、一般臨床検査をご依頼の際は、事前にご連絡をお願いいたします。

● 新型コロナウイルス関連

新型コロナウイルス対策室 TEL：075-631-6230

対応時間：月～土 9:00～17:00（祝日除く）

3. 依頼書について

- ① PCR 検査、一般臨床検査ともに、依頼書でのご依頼をお願いいたします。
- ② 一般臨床検査をご依頼の際、陽性検体の場合は依頼書のコメント欄に「コロナ陽性」と記載してください。
- ③ 依頼書は、3次容器と4次容器の間に梱包してください。

4. 検体梱包について

4-1 三重梱包までのご準備について

- ① カテゴリーB対応容器をご準備ください。
国連番号(UN No.)UN3373 を取得した梱包容器はメーカーで購入可能です。
搬送に必要な吸水材、2次容器、3次容器が販売されており、3次容器には国連より認証された UN3373 のマークが印字されています
- ② PCR 検査用検体、陽性検体は、それぞれ2次、3次容器を分けて梱包してください。
その際、陽性検体を入れた2次容器の外側に、「陽性」や「(+）」と記載してください。
- ③ 3次容器の中に、2次容器を梱包してください。PCR 検査用検体、陽性検体はそれぞれ分けてご提出下さい。PCR 検査用検体は3次容器用ラベル(6 ページ)の危険物の文字の上に PCR と記載して下さい。

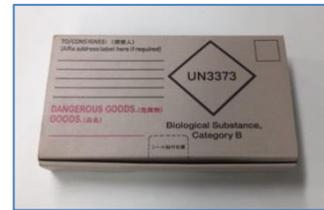
例) 容器例 (資料提供元：(株)スギヤマゲン)



左から 3次容器・2次容器・吸水材



2次容器に入った容器例



3次容器例

詳細な「ゆうパック利用時の梱包方法」は国立感染症研究所および各自治体 HP でご確認いただけます (資料が必要な場合、弊社担当営業へご用命ください)。

感染症発生動向調査事業等に関わる検体

ゆうパック利用時の 梱包方法

国立感染症研究所

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/other/document/s/yupack03.pdf>

または、国立感染症研究所「2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル」をご参照ください。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9325-manual.html>

※凍結での発送について

「ゆうパック利用時の梱包方法」にもございますが、2次容器には絶対にドライアイスを入れて梱包しないようご注意ください。（過去、容器が膨張し、中の検体が飛散したことがあります）。ドライアイスは3次容器と4次容器の間に入れていただくようお願い致します

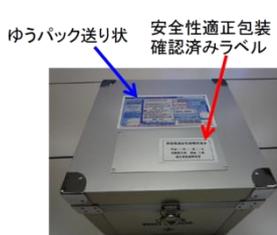
4-2 搬送用4次梱包容器のご準備について

3次容器を搬送いただくための4次梱包容器については、国立感染症研究所の資料では、ジェラルミンケースが案内されておりますが、ゆうパックの搬送に耐えられる包装容器で問題ございません。

ご送付の際、搬送用4次梱包容器の上面に「安全性適正包装確認済みラベル」を貼付ください。

（必要な場合は「8.4 次梱包容器用ラベル見本」を印刷し、ご使用ください）

例)



送付例

安全性適正包装確認済みラベル

キリトリ

安全性適正包装確認済み 令和 年 月 日 包装責任者名： 医療機関名：
--

キリトリ

搬送用4次梱包容器上面に

4-3 搬送用4次梱包容器のジェラルミンケースが準備出来ない場合

日本郵便（株）のマニュアルに遵守した包装に対応可能な、弊社の検体搬送BOXをお貸し致します。

検体搬送用BOXサイズ

小：幅31×奥行22×高さ23cm

中：幅42×奥行28×高さ31cm

大：幅56×奥行41×高さ31cm

弊社の検体搬送BOXを使用する場合については、「5. SRL 検体搬送BOX または日本臨床検体搬送BOXを使用した4次梱包手順」の通りに梱包してください。

4-4 梱包容器の返却について

ご希望の場合、2次容器（ボトルタイプのみ、ビニールパウチは返却不可）、3次容器、4次容器（ジェラルミンケースなど）をご返却いたします。ご返却の目安は、1週間程度を予定しております。

各容器に下記4点をご記載下さい。

①要容器返却 ②施設名 ③施設住所 ④弊社担当集荷拠点名

※全て記載がないと返却ができませんので、ご注意ください。

5. SRL 検体搬送 BOX または日本臨床検体搬送 BOX を使用した 4 次梱包手順



- ① 3重梱包されたものを、依頼書、保冷剤と一緒に、検体搬送 BOX に入れる。スポンジや新聞紙などで動かないようにする。



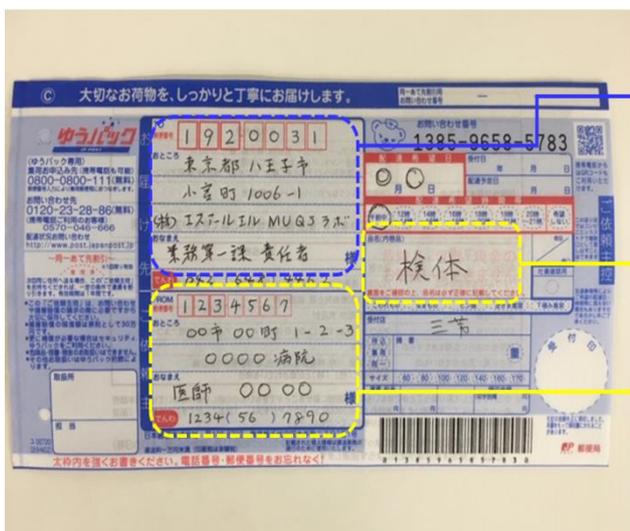
- ② 中蓋を閉めて、外装の蓋を閉じてガムテープ（紙素材以外のしっかりとしたテープを使用）で閉じる。



- ③ ゆうパックの伝票を上面に貼る。
④ 危険物（赤文字）とカテゴリー B 表示の用紙を側面に貼る。

※ 検体搬送 BOX をご使用の場合、「安全性適正包装確認済みラベル」貼付は不要です。

6. ゆうパック伝票の記入方法



〒613-0046

京都府久世郡久御山町大橋辺16-10

(株)日本医学臨床検査研究所

名前:仕分注課 羽根 昇

電話:075-631-6185

品名(内容品): 検体

郵便番号: 医療機関郵便番号

おところ: 医療機関住所 医療機関名

おなまえ: 「医師」 医師氏名

でんわ: 医療機関電話番号

7. 検体搬送BOXでのゆうパック利用を郵便局へ事前確認する手順

貴院の配達を受け持つ郵便局のゆうパック担当者に下記内容の事前確認をして下さい。郵便局の状況によっては、郵便局の職員の方がゆうパックの集荷可能な場合があります。

また、小さい郵便局はゆうパックの配達も集荷もしていませんので、ご注意ください。

●事前確認内容

- ① ゆうパック専用伝票の差出人欄には、「医療機関名 ▲▲▲ 医師 ○○○」と記載します。品名欄には「検体」と記載します。
- ② 発送物の外装に「危険物」と赤字で記載します。また、カテゴリーBの検体である表記を全てにいたします。
- ③ 4重梱包したもので差し出します。4重梱包に使用するものはジェラルミンケースでなく、検査機関が用意した検体搬送用の強固なBOXを使用いたします。
- ④ この提出方法は、検査機関の(株)エスアールエルが日本郵便(株)本社に確認したところ、日本郵便のゆうパックのマニュアルに遵守した包装であると回答をいただいておりますが、念のため担当していただく郵便局への事前確認です

8. 4次梱包容器用ラベル見本

搬送用4次梱包容器にご使用ください。

8-1 搬送用4次梱包容器_上面用

弊社の検体搬送BOXをご使用の場合は、貼付は不要です。

安全性適正包装確認済みラベル

キリトリ

安全性適正包装確認済み
令和 年 月 日
包装責任者名：
医療機関名：

キリトリ

8-2 搬送用4次梱包容器_側面用

次ページをカラー印刷の上、ご使用ください。赤字での「危険物」表示が必要です。

PCR検査用検体は3次容器用ラベル(6ページ)の危険物の文字の上に PCR と記載して下さい。

UN3373 Infectious substance, affecting humans

送り主

氏名:

住所:

受取主

氏名: (株) 日本医学臨床検査研究所

仕分注課

住所: 〒613-0046 京都府久世郡久御山町大橋辺16-10

緊急連絡先

氏名: (株) 日本医学臨床検査研究所

羽根 昇

住所: 〒613-0046 京都府久世郡久御山町大橋辺16-10

TEL: 075-631-6185

PCR検体のご提出時は
PCRの表示が必要です

PCR

危険物

